



テーマ

## コロナ禍の心の支え



### ■大吉の暗示

年末年始はコロナ禍で帰省しなかったため、毎年恒例の父との初詣ができず、残念に思っていました。

そんな中、父から手紙が届きました。大きな封筒を開けると神社のお札とお守り、そしておみくじが同封されていました。私の分もおみくじを引いてくれたことに感謝しながら開封すると、なんと大吉でした。

私はくじ運が悪く、おみくじで大吉だったことは数えるくらいしかありません。子供時代、商店街の福引でもハズレばかりで、見かねて抽選券をくれた後ろのおばちゃんを悲しませました。

そういえば、いつだったか元日におみくじを引いて大吉の年があったはずと思い出し、過去の手帳を調べて一気に血の気が引きました。それは忘れもしない2011年、まさに東日本大震災が発生した年です。

おみくじはいつも末吉か小吉なので境内に結んできませんが、2011年はめずらしく大吉だったため、持ち帰って手帳に挟んでいました。少し変色した大吉のおみくじを手にとると、当時の不安で押しつぶされそうな気持ちが鮮明によみがえってきました。

2001年に起業してから2011年でちょうど10年目。ようやく事業が軌道に乗った時に震災が発生して大きな仕事を失いました。

そんな中、心の支えになったのが大吉のおみくじです。「元日に引いたおみくじが大吉だったのだから絶対大丈夫」と何度も自分に言い聞かせました。

震災後、試行錯誤しながら考えられる方法をすべてやりつくした後、「これでダメだったら、またゼロからやり直そう」と思っていた時、あるお客様から神奈川県の案件を頂きました。

それまで宮城県を中心に営業活動をしていたため、震災で仕事なくなり窮地に陥りましたが、他の地域に目を向ければまだまだ仕事があることに気が付き、目からウロコが落ちる思いがしました。

自らの体験から、ピンチになると不思議なことに周りが見えなくなり、かえって深みにはまることを学びました。視野を広げることの重要性を痛感しました。

今年の大吉のおみくじをよく見たところ、あることに気がきました。それは父から届いたおみくじが「米粒」で封かんされていたことです。今どき「米粒」を糊代わりに使用するのは父しかいません。父がわざわざ大吉のおみくじを選んで送ってくれたことを知り、じんわりと胸が熱くなりました。

今年で起業して20年目。コロナ禍の影響は東日本大震災を大きく上回り、まさに10年に一度の大ピンチです。ふるさとの息子を心配する父の温かい気持ちに伝えるべく、「米粒の大吉のおみくじ」を心の支えとして悔いのないよう頑張ろうと誓いました。

### ■初夢の暗示

お正月、妻から「初夢は何を見たの？」と聞かれて、そういえば元日の夜は夢を見なかったことに気付きました。妻は憧れの野球選手にサインをもらった夢を見たらしく、ゴキゲンでした。

私の初夢は1月3日です。夢にはサラリーマン時代の怖い上司が現れました。新卒で入社してから独立するまでの5年間、厳しくご指導頂きました。今の仕事の基本は、すべて上司から学んだものです。

夢に出てきた上司は、当時の姿そのままです。周囲への気配りを忘れず、難しい仕事をテキパキこなしていく姿に憧れました。入社3日目までは上司の言葉遣いやお客様への対応の仕方、そして文章の書き方など、すべてを徹底的に真似しました。上司はお客様から「伝説の商社マン」と呼ばれるほどに絶大な信頼を得ていました。

上司はプロレスラーのような体格で、見るだけでも怖い存在でした。普通に叱られるだけでも相当な威圧感がありますが、いつも叱り方が絶妙であとに残らない爽快感がありました。そんな上司から、夢の中で叱られたことは次の通りです。「一人で勝手に仕事を進めずに、もっと報告・相談すること」

これは入社1年目に上司から何度も言われた言葉です。当時の未熟な私は自分の思う通りに仕事を進めたい気持ちが人一倍強く、結果として上司には事後報告となってしまう、勝手に判断するなどと注意されていました。

会社を辞めて20年以上経つのに、いまだに夢の中で上司に叱られている自分にあきれてしまいますが、コロナ禍の今、自分にとって必要なことは「その道のプロに相談すること」ではないかと思い直しました。

新入社員時代、上司に対して「これはどうしたらいいでしょうか」と尋ねると烈火のごとく叱られるため、いつも自分の考えを紙に書いて提示していました。自分の考え方に対して、上司は赤鉛筆で検討すべき点を指摘してくれましたが、それは紛れもなく「経験者だからこそ分かる、これから起こりうる問題」でした。

会社経営で注意すべき点は、突然発生する「想定外の出来事」です。自分には想定外であっても、その道のプロにとっては十分に予測可能であり、事前に対策を打つことができます。厳しい環境の中で新分野を切り拓くには、自分の力を過信せず、もっと謙虚にならなければと反省しました。

新人時代に本気で叱ってくれた上司の言葉は、時空を超えて心の中に生き続け、必要な時に意識の中に現れて、今でも私の心を支えてくれます。以上

### 【2月の税務・労務等】

- 国税 ・ 決算期の定めのない人格なき社団等の法人税の確定申告・・・28日迄
- 地方税 ・ 固定資産税及び都市計画税第4期の納付
- 令和2年分の所得税の確定申告が始まります。
- 新入社員の受け入れ体制について検討しておきましょう。